

神奈川県立相原高等学校 農業クラブ畜産科学分会 【未利用資源の有効活用による環境教育の実践】

功績

地域から大量に排出される生活ゴミのほとんどは焼却処分され、CO₂の排出につながっています。同校では17名の高校生が放課後ほぼ毎日参加し、近隣小学校の給食残滓、商業施設からの野菜くず等、地域から排出される食品残滓を飼料化して鶏卵、豚肉を生産し、それを近隣の小学校給食の食材として地域に還元しています。この食材は近隣商業施設内のレストランなどで環境にやさしい食材として用いられ、環境意識の向上にも役立っています。また、近隣小学校や商業施設から排出される野菜くず等を堆肥化し、イベントなどで地域に無料配布したり、草花栽培、緑のカーテンの元肥として活用してもらうほか、近隣公民館や中学生を対象とした、身近でできる段ボール堆肥講習会、ゆずの搾りかすを用いたマーマレード講習会などを実施し、地域ぐるみのリサイクル活動について啓発活動を行い、高校生の環境保全や地球温暖化に関する意識や技能を高めています。